SUMA
COMMUNITY
BUSINESS
IDEA NOTE
2018

問い合わせ先

社会福祉法人　神戸市須磨区社会福祉協議会
電話：078(731)4341　内線310

すま
SUMA
コミュニティ
COMMUNITY
ビジネス
BUSINESS
アイデアノート
IDEA NOTE

すまコミュニティビジネス大学
2018
報告集

趣旨

自分の「好き」や「できる」で地域貢献をしよう。
自分がその取り組みを好きであること、
関わる人が楽しめることが
シンプルに事業を継続する一番のポイントです。

畠　健太郎

自分の「できる」が社会で活きる!

課題解決には、さまざまなアイデアが必要!

地域文化、福祉、子育て、教育、まちづくりetc...
そんな地域社会を元気にするビジネスをつくりだしたり、
応援したい方々を対象に、企画立案、活動のサポートまでを行う
「コミュニティビジネス大学」を開催します。

キーワードは「みつめなおす」こと

自分のキャリアや趣味・特技をみつめなおそう。

自分らしい活動の目的や方向性を定め、継続可能な取り組みにします。

地域文化や地域資源をみつめなおそう。

さまざまな切り口、柔軟なアイデアで課題解決の方法を模索します。

その後の活動

須磨区役所で事業内容プレゼンテーションを行いました。

講座後にもミーティングを重ね地域で取り組み連携を勧めています。

すまが好き!
でつながる、ふらっと フラットコミュニティ
すまふらっと。

参加者募集中!!

地域密着型SNS「マチマチ」
https://app.machimachi.com/
に登録し、コミュニティ「すまふらっと。」に参加するだけ!!
地域情報提供をはじめとして、話し合いの場、学びの場、イベントの場など
須磨区役所、須磨区社会福祉協議会がサポートをします。

地域SNSの中で独自コミュニティの中核となり地域をもりあげています

09 SUMA COMMUNITY BUSINESS IDEAS

猶原　信男

❶すまコミュニティビジネス大学を受講したきっかけは？
身近な方（須磨周辺）とのつながり。それと運動を進めるうえでのアイデアを求めました。

❷受講したことでご自身の中に変化はありましたか？
柔軟な発想の重要性を痛感。

❸「コミュニティビジネス」の印象はかわりましたか？
非常に為になりました。

❹ご自身の感じる須磨の魅力は？
自然豊かなところ。

❺これからコミュニティビジネスや地域活動を考えている方々にメッセージをください。
一緒に考えませんか。コミュニティビジネスのこと。

得意分野と交流で問題解決「すまシニア塾」

すまコミュニティビジネス大学
事業計画書

【テーマ】あなたの設定した課題・問題をどのような方法で解決するかを記入してください

須磨区内の色んな悩み　を、

元気なシニア世代の仲間を作り　で解決する。

【計画】解決の流れを簡単に説明してください。

START
①すまCB大学生をはじめ、元気なシニア世代に自分の得意分野で社会に役立ちたい人を呼び掛ける。
②呼びかけに応じた人をその希望に合わせ、チームを作る。
③各チームで、学習並びに練習を行う。
④各チーム同士、その成果を見せ合い、フィードバックする。
⑤依頼のあった地域で実践活動
解決!

【タイトル】考えた「コミュニティビジネス」にタイトルをつけましょう

すまシニア塾（シニア世代の得意分野ごとに仲間を作り、
各地域のニーズに合わせ、その地域の人との交流を通じて問題解決を図る。）

【背景】その内容を選んだ理由や、関心をもつきっかけになった出来事などを考えてみましょう

・元気なシニア世代が時間を持て余らしている。
・須磨区内で子育て、ゴミ出しなどでマンパワーが求められている。

【効果】あなたの考えた「コミュニティビジネス」によって何がどのように変わるでしょう

・須磨区内のシニア世代の生きがい対策
・すまシニア塾の成果を、子育て世代や地域の集まりで反映させることにより、地域の問題解決と、人と人との交流を図る。

【図解】図解どのようなビジネスか、どのような仕組みかを図に表してみましょう。

元気なシニア世代に得意分野ごとに仲間を募集する。
・働き隊（有償ボランティア）⇒例：市場の忙しい時に手伝う、簡単な剪定など
・特技出前隊（それぞれの特技を活かす）⇒地域の会合に行き、楽しませる。
・須磨の伝統の再発見隊（地域の季節行事や祭り、郷土料理、昔遊びなどの伝統行事など）⇒須磨っこ寺子屋で子育て世代に伝承する。
・須磨の良さの発見隊（COOL JAPAN SUMA：遊び心満載の縁起を担ぐものを発見する。ハートの形の猪目、運試しの輪投げなど）⇒パワースポットを作り、観光開発する。
・須磨学び隊（「源平合戦」「須磨の仇浪（あだなみ）」「須磨の句碑・歌碑」「城ノブ」「賀川豊彦」など神戸や須磨に関するいろんなことを学ぶ。⇒その知識を地域で発表や見学イベントで提供する。

実施概要

内　容　**全6回講座　座学・ワールドカフェ・企画ワークの形式で講座を行います。**
企画の立て方、事業計画の立て方、活動のアドバイスまでを行います。

対 象 者　**社会貢献、起業やプロジェクト創出に関心ある方を対象とします。**
（コミュニティ・ビジネス起業したい方、すでに活動されている方、学びたい方等）
※須磨区内の在住・勤務等の限定はいたしませんが、講座の目標として
須磨区に関連したコミュニティビジネスの立ち上げを基本としています。

募集人数　**15名**

開催日程　8/22（水）、9/12（水）、9/26（水）
10/10（水）、10/24（水）、11/14（水）
時間：14:00〜16:00

場　所　**須磨区役所**
（フィールドワーク等の開催場所は後日決定）

費　用　**資料代等実費 3,000円**

8/22（水）第1回
オリエンテーション「地域をみつめなおし、可能性を掘り起こそう」
地域で普段感じていることや、既存の課題を話しあい、
少し視点をかえて課題を観察することでコミュニティビジネスのヒントを探します。

9/12（水）第2回
講座/企画ワーク「自分ができることをみつけだそう」
自分のキャリア、目的、趣味や特技・身につけていること、チャレンジしたいこと等を基本にして、
楽しんで継続ができることから、コミュニティビジネスのヒントを探します。

9/26（水）第3回
まち歩きフィールドワーク「場所や地域資源を活用しよう」
こどもの視点・動物の視点、物の視点など、さまざまな視点で地域を歩き、
これまでと違った問題発見や課題解決のアイデアを考えます。

10/10（水）第4回
講座/企画ワーク「コンセプト・ターゲット・伝わり方を考えよう」
チラシなどの紙媒体やSNSなどのウェブ媒体で、どのように情報がつたわっていくかを考え、
事業を説明する言葉やイメージの方向性をつくります。

10/24（水）第5回
企画ワーク「企画・事業計画」を考えよう
「自分のできること」×「地域のみつめなおし」から企画や事業計画を考え、
実践にむけた相談や報告を行います。

11/14（水）第6回
企画ワーク「企画・事業計画」を発表しよう
「自分のできること」×「地域のみつめなおし」で生まれた企画や事業計画を発表します。
実践にむけた相談や報告を行います。

1/29（火）第7回
プレゼンテーション&報告会
組み立てた事業計画を公開プレゼンテーション/展示発表します。

すまコミュニティビジネス大学

事業や取り組みづくりのポイント

ポイント①

「みつめなおす」

個		公
自分をみつめなおす。	×	地域をみつめなおす。

自分のキャリア・経験
趣味・特技を分析します。

地域を様々な視点から
捉えなおします。

ポイント②

「そのひとだからできる」を探す

個		公
自分ができる・詳しい・楽しい	×	みんなで共有する方法

自分の「できる」を
使って課題を解決し
地域の人たち
みんなが共有できるよう
考えます。

ポイント③

「できる」を「無理なく」行う

個		公
自分が苦にならない	×	参加が苦にならない

何よりも継続を優先し
自分が苦にならない
関わる人も苦にならない
無理のない計画を
工夫します。

ポイント④

「いそがず、まずひとつ」進める

名刺をつくる
チラシをつくる
協力者を募る
小さなことから
進めていきます。

08 SUMA COMMUNITY BUSINESS IDEAS

藤波　進

❶すまコミュニティビジネス大学を受講したきっかけは？
社協から勧められました

❷受講したことでご自身の中に変化はありましたか？
考えていたことを書き出せました

❸「コミュニティビジネス」の印象はかわりましたか？
特に、変わりません。

❹ご自身の感じる須磨の魅力は？
山と海。落ち着いた雰囲気。

❺これからコミュニティビジネスや地域活動を考えている方々にメッセージをください。
考えることと行動することを交互にすることにより、少しずつでも前に進めます。
止まってしまったら、あるいはマンネリになったら、切り替えるとよいと思います。

閉じこもりがちな夫に、地域デビュー相談所

すまコミュニティビジネス大学 事業計画書

【テーマ】あなたの設定した課題・問題をどのような方法で解決するかを記入してください

定年を過ぎて家に閉じこもりがちな夫と
それで困ってしまっている妻の状況

を、

寄り添いながら、夫が生きがいを見つけられそうな場を
見つけられるようフォローすることにより

で解決する。

【計画】解決の流れを簡単に説明してください。

START
↓
解決!

①状況を改善できる多様な場を準備する
②継続できるビジネスモデルを構築する
③試験的に実施し、問題点を抽出して改善する
④協力者を見つけ、体制を整え本格的に開始する
⑤販売ツールを開発し、事業を定着させる

【タイトル】考えた「コミュニティビジネス」にタイトルをつけましょう

「いざ！　出かけよう！　たのしもう！」

【背景】その内容を選んだ理由や、関心をもつきっかけになった出来事などを考えてみましょう

退職は、働く場・収入・人間関係の喪失を意味する。うまく新しい状況に適応していく人と、過去を引きずり動けなくなってしまう人がいる。家に閉じこもりがちになると、妻にまで影響が及び、「夫源病」を発症する妻もいる。そういうケースを多く見聞きした。

【効果】あなたの考えた「コミュニティビジネス」によって何がどのように変わるでしょう

退職して、例えば「地域デビュー」しようとしても、入り口が分からなかったり、一度頑張って入ってみても異次元のルールがあり挫折して以後は出られなくなったりする人もいる。スタート時点でうまくスタートできることにより、後は自力で道を切り開き、妻も喜ぶ。

【図解】図解どのようなビジネスか、どのような仕組みかを図に表してみましょう。

07 SUMA COMMUNITY BUSINESS IDEAS

松嶋　剛史

❶すまコミュニティビジネス大学を受講したきっかけは？
持続可能なボランティア活動をするためには、有償ボランティアが必要と感じ、
その仕組みづくりを学ぶ意味で受講をさせていただきました。

❷受講したことでご自身の中に変化はありましたか？
正直、座学としてこの講座を受講しましたので、講座が終われば、それで終わりと思っていました。
しかし、実際、行動することになり、ちょっと躊躇しています。
自分のしたいこと×地域課題＝コミュニティビジネスと教わりましたが、
いずれも個人的には明確な目標が設定できず、グループの裏方に回っています。

❸「コミュニティビジネス」の印象はかわりましたか？
受講前より地域課題は意識できるようになりました。
しかし、ビジネスというからには、お金が回る仕組みづくりなど経営の発想が必要と思いますが、
それが受講後、解決できていないのが、残念です。

❹ご自身の感じる須磨の魅力は？
山と海に囲まれ、そして自然環境豊かな地域が魅力です。また、須磨区での活動をしている方々の横のつながりの場を、
講座終了後も提供していただいたのは、とても良かったです(他区でこのような機会はありません)。

❺これからコミュニティビジネスや地域活動を考えている方々にメッセージをください。
自分がしたいことや出来ることで、コミュニティビジネスを展開する能力のある人は、この講座を聴いてすぐに事業展開していると思います。
しかし、特技もなく個人では出来ない方において、グループ活動での展開が可能だと思います。それを考慮した講座の中でのグループ活動を
もう少し取り入れても良かったのかと思います。
　今後も、須磨区内での地域活動をするうえで、人と人をつなぐネットワークづくりのための具体的な仕組みづくりが大切だと思います。

みんなの助け合いをマッチング「すま居る」

すまコミュニティビジネス大学 事業計画書

【テーマ】あなたの設定した課題・問題をどのような方法で解決するかを記入してください

地域や住民が抱えているあらゆる悩み　を、

街の善意な居場所での交流を通じて、困っている方と人の役にたちたいという方を、有償サービスを前提にマッチングすることにより、住民同士を助け合い支え合うこと　で解決する。

【計画】解決の流れを簡単に説明してください。

START
↓
①準備段階：すま居るに参加するメンバーによる全体会議と短期計画や進め方など話し合い
↓
②短期計画「シニア世代から子育て世帯へのふるさと伝承事業」の具体的な内容の検討
↓
③地域ニーズと有償のコミュニティビジネスとの実現可否の検討。有償に限らず社会的なニーズに対応するプロジェクトも検討。
↓
④各プロジェクトの実施結果をフィードバックし検証する。その中でコミュニティビジネスとして、継続できる事業を確率する。
↓
⑤ぶらっとホーム「すま居る」を持続可能な組織にしていくために、NPOを含め法人化や財務体質、人材などの強化を検討する。
↓
解決!

【タイトル】考えた「コミュニティビジネス」にタイトルをつけましょう

ぶらっとホーム「すま居る」
（みんなの助け合いを有償サービスでマッチングする素敵な場所）

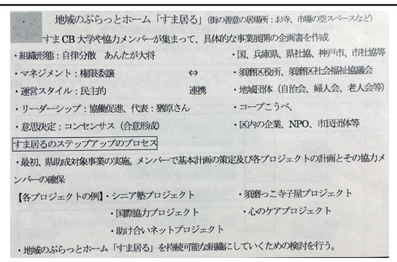
【背景】その内容を選んだ理由や、関心をもつきっかけになった出来事などを考えてみましょう

「地域の課題・社会の課題」：人口現象・超高齢社会で。引きこもり、ゴミ出しなど色んな悩みを抱えている高齢者・障がい者・子育て世代などがいる。公的サービスの狭間や必要とするサービスの提供を有償で受けたい人がいる。
＜反面＞人の役に立ちたい元気なシニア世代や若者たちがいる。できれば有償で社会貢献をしたいひとがいる。

【効果】あなたの考えた「コミュニティビジネス」によって何がどのように変わるでしょう

・地域や住民がかかえているあらゆる悩みを有償サービスのビジネスの仕組みで解決する。
・シニア世代や社会貢献で生活したい若者の　生きがい対策になる。

【図解】図解どのようなビジネスか、どのような仕組みかを図に表してみましょう。


地域のぶらっとホーム「すま居る」(街の善意の居場所：お寺、市場の空スペースなど)
すまCB大学や協力メンバーが集まって、具体的な事業展開の企画書を作成
・組織形態：自律分散　あんたが大将
・マネジメント：権限委譲　⇔
・運営スタイル：民主的　連携
・リーダーシップ：協働促進、代表：猫原さん
・意思決定：コンセンサス（合意形成）
・国、兵庫県、県社協、神戸市、市社協等
・須磨区役所、須磨区社会福祉協議会
・地域団体（自治会、婦人会、老人会等）
・コープこうべ
・区内の企業、NPO、市民団体等
すま居るのステップアップのプロセス
・最初、県助成対象事業の実施。メンバーで基本計画の策定及び各プロジェクトの計画とその協力メンバーの確保
【各プロジェクトの例】・シニア塾プロジェクト　・須磨っこ寺子屋プロジェクト
・国際協力プロジェクト　・心のケアプロジェクト
・助け合いネットプロジェクト
・地域のぶらっとホーム「すま居る」を持続可能な組織にしていくための検討を行う。

事業アイデア一覧

01 認知症の人が安心して歩ける場所をつくりたい
02 高齢者、障がい者と地域との相互交流を推進
03 公園スペースを活用した畑を「ぼくらの庭」に
04 おとなの学び場、こどものたまり場「すまっこ寺子屋」
05 精神病の方が暮らしやすい地域と就労・助け合いの場
06 SNSで空き地、空き家をマッチング
07 みんなの助け合いをマッチング「すま居る」
08 閉じこもりがちな夫に、地域デビュー相談所
09 得意分野と交流で問題解決「すまシニア塾」

01

SUMA COMMUNITY BUSINESS IDEAS

宮崎　芳治

❶すまコミュニティビジネス大学を受講したきっかけは？
「すま」への愛着、関心を持っているが、何から始めるのか方法を知りたかった。

❷受講したことでご自身の中に変化はありましたか？
問題点が整理され、課題が見つかった。他の参加者の方向性を知ることができた。
参加者の積極性と年齢、経験などの垣根の低さがありがたかった。

❸「コミュニティビジネス」の印象はかわりましたか？
与えられるものではなく、自分で見つけだすこと。

❹ご自身の感じる須磨の魅力は？
海の持つ癒しの魅力、山の持つ日常性の強み
ニュータウンの持つ暮らしやすさが一体化しており歴史もあること。

❺これからコミュニティビジネスや地域活動を考えている方々にメッセージをください。
人と人が繋がることにより課題が解決しやすくなる。
暮らしやすさに何が必要なのかを考える。

認知症の人が安心して歩ける場所をつくりたい

すまコミュニティビジネス大学
事業計画書

【テーマ】あなたの設定した課題・問題をどのような方法で解決するかを記入してください

須磨ﾆｭｰﾀｳﾝをオールドタウン化しないための課題

を、

①ネーミングの改称と街の景観の点検。
②「地域のセンター」の新設など
③「HAIKAIプロムナード」(社会実験)の新設など
④ふるさとづくり。

で解決する。

【計画】解決の流れを簡単に説明してください。

START

①マスタープランの策定と
地域草の根「ﾆｭｰﾀｳﾝのみらいを考える会」の立ち上げ。

②プロデューサーの決定
ﾜｰｷﾝｸﾞ　ｸﾞﾙｰﾌﾟ、学生ﾎﾞﾗﾝﾃｱさんの確保　活動拠点確保。

③構想趣旨を基本計画書に。
ﾌﾟﾛﾓｰｼｮﾝ用のPR素材作成し、活動資金を集める。、

④行政などへの要請。、

⑤実現に向けての組織強化、民間企業へのｱﾌﾟﾛｰﾁ。進出企業の決定。

解決!

【タイトル】考えた「コミュニティビジネス」にタイトルをつけましょう

“地域のセンターと“HAIKAIﾌﾟﾛﾑﾅｰﾄﾞの実現で人生１００年時代を
新しいニュータウンで暮らしませんか！・・　Sora＋Zero　[空＋認知症ゼロ]、

【背景】その内容を選んだ理由や、関心をもつきっかけになった出来事などを考えてみましょう

ﾆｭｰﾀｳﾝの人口減、高齢化、少子化
市の進める認知症にやさしい街神戸を、より認知症の予防や障がい者との共生を
計るため。ﾆｭｰﾀｳﾝ全体で利用可能な「地域のセンター」が無いので、街のまとまり、
連帯感が希薄。病院の跡地利用。

【効果】あなたの考えた「コミュニティビジネス」によって何がどのように変わるでしょう

人生１００年時代を迎えて、生き生きと暮らせる街となる。
安全、安心、文化度の高いﾆｭｰﾀｳﾝとして暮らしの魅力度を高められる。
また、ふれあいの効果で、子育て、高齢の移住世代にも働き掛けられる。

【図解】図解どのようなビジネスか、どのような仕組みかを図に表してみましょう。

○地域のｾﾝﾀｰ／認知症の予防、ｹｱ、障がい者などとの共生施設。
　　多目的健康センター、文化センター、地域ｻｰｸﾙ、
NPO、ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱなどの活動拠点
　　工房センター(木工で街の再生やｲﾝﾍﾞｷｭｰﾀﾞｰ)
　　ｶﾌｪ、シルバーﾚｽﾄﾗﾝ、菜園、芝生公園、屋外健康器具
○プロムナード→、ｲﾙﾐﾈｰｼｮﾝ、ﾃﾞｼﾞﾀﾙｱｰﾄ、光や映像を駆使してﾅｲﾄｳｫｰｸを実現、また、
徘徊者のための安全性を配慮のためAI、GPS、ﾄﾞﾛｰﾝなどを駆使。
○住居をﾘﾉﾍﾞｰｼｮﾝ→学生、ｼｪｱﾊｳｽ(就職付)移住世代、ｼﾙﾊﾞｰ世代に対応。
○街並み景観の改善。

06

SUMA COMMUNITY BUSINESS IDEAS

坂元　敬典

❶すまコミュニティビジネス大学を受講したきっかけは？
居場所づくりを学ぶためには、どうしたらいいのかを考えている時に
社協さんからコミュニティビジネス大学をすすめられた。

❷受講したことでご自身の中に変化はありましたか？
地域で色々な「思い」を持たれている社会奉仕家がおられた。
その人たちと一緒に学習して、「地域のため」「社会のため」に自分に
将来何が出来るんだろうと考えるようになった。

❸「コミュニティビジネス」の印象はかわりましたか？
あまりコミュニティビジネスのことを知らなかったので、心境の変化はありません。

❹ご自身の感じる須磨の魅力は？
「歴史あり」「海あり」「山あり」そして「人あり」

❺これからコミュニティビジネスや地域活動を考えている方々にメッセージをください。
自分も含めてなんですが、「一歩を踏み出す勇気」が必要だと思っています。
自分で踏み出せない場合は、周囲の人(仲間)と一緒に踏み出したら良いかな？と考えています。

SNSで空き地、空き家をマッチング

すまコミュニティビジネス大学
事業計画書

【テーマ】あなたの設定した課題・問題をどのような方法で解決するかを記入してください

駐車場を借りたい人・貸したい人、家を借りたい人・貸したい人
物を売りたい人・買いたい人

を、

マチマチのマッチングビジネス

で解決する。

【計画】解決の流れを簡単に説明してください。

START

①駅周辺の空き地・空き家を調査(情報収集)
月見山・妙法寺・北須磨・白川台・名谷

②地域限定SNS「マチマチ」に情報を入力する
地域の人に入力してもらう()データベース化

③必要な方に必要な情報を提供(発信)する

④提供者と受療者をマッチング

⑤マッチングを利用して他の活動にも
例:買い物代行サービスなどにも拡張していく

解決!

【タイトル】考えた「コミュニティビジネス」にタイトルをつけましょう

マチマチを活用してマッチングビジネス

【背景】その内容を選んだ理由や、関心をもつきっかけになった出来事などを考えてみましょう

ある駅周辺(駅から歩いて3分)の400坪程度の空き地(雑草が少し伸びている程度)に、
車が3台しかとまっていないことを不思議に思っていました。40台程度は、十分に止め
られる＝最低でも月40万、年間で480万の喪失かな？将来マンションになるので今は
駐車場として使っていないのか？

【効果】あなたの考えた「コミュニティビジネス」によって何がどのように変わるでしょう

①誰もが安心して「相談できる」窓口ができる。・・・くらしの安心②これから発生する
「空き家・空き地」を有効活用することができる③古い集合住宅(取り壊すにはもった
いない)を改造して広い二世帯マンションに変化させる。④古い古民家を改造して、
陽だまりカフェや娯楽ができる「居場所をつくる」・・・孤立化を防ぐ⑤駅近くの空き
地を「駐車場」に変える・・・相互メリット⑥郊外の空き地を「畑に変える」・・・自給自足
を可能にする。

【図解】図解どのようなビジネスか、どのような仕組みかを図に表してみましょう。

05 SUMA COMMUNITY BUSINESS IDEAS

川崎　由利子

❶すまコミュニティビジネス大学を受講したきっかけは？
地元の須磨を拠点にコミュニティビジネスを始めよう！と悩んでいたところ、
家族がチラシを見つけてきてくれて、内容がまさにピッタリだと感じたので申込みました。

❷受講したことでご自身の中に変化はありましたか？
一人でイチから始めようとしていたところだったので、同じように頑張ろうと活動している仲間に
出会えたことはとても心強いです。授業を通して事業計画を作り上げることが出来るところまで進めた
ことは、大きな一歩になったと思います。

❸「コミュニティビジネス」の印象はかわりましたか？
「みんなで手を繋いで円になるコミュニティではなく、個々が点在していても、それぞれが須磨のことを
考えているコミュニティ」。イメージしていたコミュニティビジネスの在りかたも間違えてはいなかった
と自信にもなりました。

❹ご自身の感じる須磨の魅力は？
山と海に囲まれている自然豊かな土地でありながら、人の住みやすい環境でもあり生活が不便でないところ。海側と山側で下町感とニュータウン
の両方を感じることが出来る点も面白いです。インターナショナルスクールもあり、国際的にも開かれている土地だと思います。

❺これからコミュニティビジネスや地域活動を考えている方々にメッセージをください。
これから、実際に動きだそうとしているところです。アンテナをはっていると日本全国や世界から、色々な面白い地域活動の情報が入ってきます。
全く同じことを自分の地域で行っても上手くいかないと思います。地域が違えば、歴史も文化も環境も、何より住んでいる人も違います。
やり方に正解はないと思っています。色々な情報を参考にしながら、自分の拠点とする地域ではどのようなアプローチが出来るか。どのように地
域の良さをいかしていけるのか。みんなで考えて盛り上げて、一緒に楽しく活動していければと思います

精神病の方が暮らしやすい地域と就労・助け合いの場

すまコミュニティビジネス大学 事業計画書

【テーマ】あなたの設定した課題・問題をどのような方法で解決するかを記入してください

精神病に対する偏見や発症・病状悪化・精神障がい者の隔離化　を、

地域の中で精神病の方と関わる機会を増やすこと　で解決する。

【計画】解決の流れを簡単に説明してください。

START
↓
①水引きワークショップの開催準備
内容、開催場所等の詳細を考える。
↓
②水引きワークショップを定期的に行い、水引きに興味のある人を
増やす。須磨区で活動していることを地域住民に知ってもらう。
↓
③水引内職として事業設立
↓
④日常生活の相談窓口や情報交換、
地域のイベント開催も行う場所へと発展
↓
⑤様々な立場の方が交わることで、お互いに一緒に心地よく
過ごす方法を考えるようになる。
↓
解決!

【タイトル】考えた「コミュニティビジネス」にタイトルをつけましょう

みんなで交わるマーブルタウン

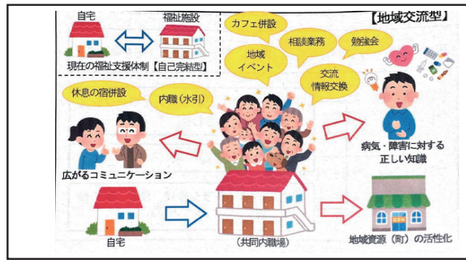
【背景】その内容を選んだ理由や、関心をもつきっかけになった出来事などを考えてみましょう

精神障がい者の福祉施設と精神病院での8年間の勤務経験から、当事者や家族の苦しい生活
の実態や壊れて行く人間関係など、病気から生まれるたくさんの生きづらさを目の当たりに
してきた。誰もがなり得る可能性のある病気にも関わらず、なぜこんなにも偏見が広がり、
「障がい者」は「障がい者」としてしか生きていけず、多くの人が見えないところで苦しんでいる
のか。
専門的な支援も必要だが、一人ひとりにとって居心地が良いと感じることの出来る生活環境
が何よりも一番の予防になるのではと考え、事業展開していくことを決めた。水引きは水引
き作りをおこなっている友人から声がかかったため、今回利用する一つのツールである。

【効果】あなたの考えた「コミュニティビジネス」によって何がどのように変わるでしょう

さまざまな立場の方が交わることで
1.障がいに対する偏見が減り、正しい知識が得られるようになる
2.障がいの方たちの生活（行動）領域が広がる。
3.多くの情報が行き交うようになる→住民同士で問題解決ができるようになる
→町の活性化につながる

【図解】図解どのようなビジネスか、どのような仕組みかを図に表してみましょう。



02 SUMA COMMUNITY BUSINESS IDEAS

石井　明美

❶すまコミュニティビジネス大学を受講したきっかけは？
2002年にチャレンジしたい事業があり計画だけで終わってしまいましたが、
今回受講してもう一度チャレンジして実現したい。第6段目の欲求かな？

❷受講したことでご自身の中に変化はありましたか？
大きく変化しました。再チャレンジするチャンスが来たこと、たくさんの人と繋がりが出来ました。
地域の課題が見えたこと。

❸「コミュニティビジネス」の印象はかわりましたか？
回を重ねるごとに、計画を実現したい思いがより強くなった。今までの事の振り返りができました。

❹ご自身の感じる須磨の魅力は？
海や山、緑が美しく、静かで住みやすいまち。すまニュータウンでは駅まで車が通れない赤道があり、
又商業施設や病院もたくさんありますので子育て中、高齢者、障がい者も安心、住みやすい町が魅力です、

❺これからコミュニティビジネスや地域活動を考えている方々にメッセージをください。
コミュニティビジネスで地域課題がより分かり目的、目標が見えてくる。
計画を立てることで、チャレンジ精神が生まれ、自己実現へと繋げる
たくさんの人と交流が出来る事もいいてすね。
継続は力なり、自己実現に向けて一緒にスタートしましょう。

高齢者、障がい者と地域との相互交流を推進

すまコミュニティビジネス大学 事業計画書

【テーマ】あなたの設定した課題・問題をどのような方法で解決するかを記入してください

地域高齢者（閉じこもり）、障がい者、介護者の不安　を、

地域の元気な高齢者ボランティア、障がい者の就労、
地域の助け合い　で解決する。

【計画】解決の流れを簡単に説明してください。

START
↓
①地域の障がい者の方が、地域高齢者が必要とすることに対応できるお仕事作り
に協力して頂ける地域の仲間を募り事業計画、資金計画を立てる。
↓
②障がい者作業所で、カフェや子どもサポートの食堂、一緒にお勉
強、配食弁当、農園をしている団体に見学や研修に行く。
↓
③実施場所は、名谷南会館南センターの仮設店舗後（菅の台）
神戸市の土地で、建物はOMこうべ、菅の台幼稚園跡地利用など
↓
④作業所開設準備、職員、スタッフ、地域ボランティアの研修を行う。
↓
⑤作業所就労で、カフェや子どもの集いの場、ふれあいレストラン
や配食サービス、野菜作りを行う。
↓
解決!

【タイトル】考えた「コミュニティビジネス」にタイトルをつけましょう

KOBE・すま・夢・希望に向かってチャレンジ

【背景】その内容を選んだ理由や、関心をもつきっかけになった出来事などを考えてみましょう

震災ボランティア活動で、地域も高齢化が進み、障がい者の方も多いと感じた、活動
の中で、知的障がい者の兄弟と母親の3人暮らし、母親は認知症、兄は重度障がい者、
弟は軽度の障がい者で、少しのサポートでひとり暮らしが出来ましたが施設へ、3人
が別々の施設入所をしてもう家族が会うことは無い。
介護保険制度、障がい者支援制度が始まる前のことです。
2002年に5年、10年、15年先の地域はどうなるのかと考えながら活動をしてきまし
た。
　あれから、17年が過ぎ心配していたことが現実に起こってきています。障がい者、
高齢者、健常者も隔たり無く安心して地域で生活が出来るを形にしたいです。

【効果】あなたの考えた「コミュニティビジネス」によって何がどのように変わるでしょう

・障がい者が住んでいる地域で、元気で楽しく就労の場が近くに出来れば、送迎
　する家族の負担も軽くなる。
・障がい者作業所で、カフェや配食サービスをすることで、高齢者や障がい者の
　健康確認、見守りも出来、社会参加につながる。
・困りごとサポートの仕事をする事で、報酬がある。

【図解】図解どのようなビジネスか、どのような仕組みかを図に表してみましょう。

03 SUMA COMMUNITY BUSINESS IDEAS

前田　基行

❶すまコミュニティビジネス大学を受講したきっかけは？
社協の紹介

❷受講したことでご自身の中に変化はありましたか？
須磨で色んな活動をされてる方がいることを知ったことや、
自身もより須磨を知る・考える機会になった。

❸「コミュニティビジネス」の印象はかわりましたか？
大きくは変化はないが、想像より緩やかな印象はある。

❹ご自身の感じる須磨の魅力は？
住み良い、歴史深い。

❺これからコミュニティビジネスや地域活動を考えている方々にメッセージをください。
まずは、このような場に出向くこと、出会うこと、そして意識することからはじめるのが大切かな、と思いました。

04 SUMA COMMUNITY BUSINESS IDEAS

米田　悦子

❶すまコミュニティビジネス大学を受講したきっかけは？
地域のことをもっと知りたかった。多世代の知り合いができるようにコミュニティーを
作りたかった。平日で参加可能であったこと。講座内容にも興味ありました。

❷受講したことでご自身の中に変化はありましたか？
より地域に対して愛着と責任を感じました。異なる世代間の知り合いが増えた。
ひとつの問題を共有することから、学び合うことができる。

❸「コミュニティビジネス」の印象はかわりましたか？
変わりました。『コミュニティビジネス』とは、もっと大変なことかとも思っておりましたが、
出来ることからはじめていくことや、社会の中でのより良く暮らす仕組みの再確認であった
と思います。

❹ご自身の感じる須磨の魅力は？
風光明媚であること。暮らしていて時間がゆっくりしていること。
食べ物がおいしくて、なおかつ、価格が安価であること。
子育てしやすい。環境が穏やか。

❺これからコミュニティビジネスや地域活動を考えている方々にメッセージをください。
たすけあうこと、話し合える関係を構築すること、寄り添える関係を育むこと。
プライスレスなコミュニティーを創造することは、楽しい時間です。
人生の部活動です！！

公園スペースを活用した畑を「ぼくらの庭」に

すまコミュニティビジネス大学 事業計画書

【テーマ】あなたの設定した課題・問題をどのような方法で解決するかを記入してください

ニュータウンのコミュニティ　を、

はたけ　で解決する。

【計画】解決の流れを簡単に説明してください。

START
↓
①場所・インフラ・規模の選定
↓
②人員・用具の確保
↓
③参加形式・運営方法
↓
④開墾・植え付け・管理
↓
⑤収穫・販売・納品
↓
解決!

【タイトル】考えた「コミュニティビジネス」にタイトルをつけましょう

（仮称）ぼくらの庭

【背景】その内容を選んだ理由や、関心をもつきっかけになった出来事などを考えてみましょう

ニュータウンは今、人口の減少とともに高齢化が進み、街としての先行きが不安視されています。
これは、ニュータウンに住むメリットが薄れてきていることや、地域のつながりの希薄さに起因しているように思います。そんななか、昨今議論されている空家・空き地の有効活用から着想を得て、まちの空いたスペースを利用した「はたけで地域コミュニティを活性化する」事業提案をしたいと思います。

【効果】あなたの考えた「コミュニティビジネス」によって何がどのように変わるでしょう

コンパクトシティ化して効率を求めるのではなく、今のままの街区をできるだけ保存しつつ、空いた場所に広場的な要素（＝「（仮）ぼくらの庭」）を挿入していく。そうすることで、適度な距離感・時間軸を保ちながら、新しい日本的な街区をつくっていけるのではないかと考えます。人が減ったから規模を小さくするのではなく、税収面を考えて中心性を求めるのでもなく、これまでの経済優先の考え方から、記憶を留めながら、持続可能なまちに変換していくための提案です。

【図解】図解どのようなビジネスか、どのような仕組みかを図に表してみましょう。

総合的な庭（畑・植樹・遊具・憩い・アートetc.）の運営
↓
・みんなで食べる
・マルシェへの出荷
・道の駅や農業マーケット、園芸店、お花屋さんなどに出荷
・こども食堂への出荷
・即売会
など。

おとなの学び場、こどものたまり場「すまっこ寺子屋」

すまコミュニティビジネス大学 事業計画書

【テーマ】あなたの設定した課題・問題をどのような方法で解決するかを記入してください

地域の世代間の交流・人間関係のつながりの停滞や核家族化による様々な孤立や不安感　を、

大人の学び場・こどものたまり場　の活動　で解決する。

【計画】解決の流れを簡単に説明してください。

START
↓
人材確保・活動場所をいくつかおさえる
↓
ミーティングをする。意見交換。情報交換。活動における互いの協力
↓
各々のスキルを磨き合う勉強会・須磨の歴史や伝統などを学び、茶話会をもって交流を深める
↓
こども・小学生・中学生にも加わってもらえるようにワーク
↓
イベント・ライブを企画運営していく。様々な人が交流できる居場所ができるように、facebookを利用して活動を発信する。
↓
大学生の方にも企画を相談をして、老若男女が活動を通して、学び合える環境を須磨で継続していく。地域の行事や季節の自然を楽しみに暮らすこと。
↓
解決!

【タイトル】考えた「コミュニティビジネス」にタイトルをつけましょう

すまっこ　寺子屋　おとなの学び場・こどものたまり場

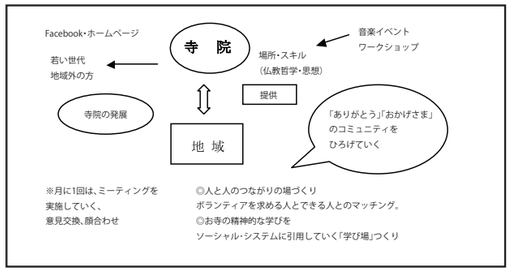
【背景】その内容を選んだ理由や、関心をもつきっかけになった出来事などを考えてみましょう

いくつになっても、学び合うことは楽しいことです。生きがいとは、誰かに『ありがとう』と言ってもらえる時。また、そのような大人をみて、こどもたちも生きることをより楽しんでいく知恵を見つけて欲しい。

【効果】あなたの考えた「コミュニティビジネス」によって何がどのように変わるでしょう

様々な方が出逢うことで、自分自身の人間関係が広がります。お互いの出来る事をしていくことを通じて、自分の魅力や生き方が輝いてくる。家族や社会に対しても影響していく。ストレスを回避していける可能性。ストレスを軽減して、より充実した日常を実現する。様々な方が出逢うことで、自分自身の人間関係が広がります。お互いの出来る事をしていくことを通じて、自分の魅力や生き方が輝いてくる。家族や社会に対しても影響していく。ストレスを回避していける可能性。ストレスを軽減して、より充実した日常を実現する。

【図解】図解どのようなビジネスか、どのような仕組みかを図に表してみましょう。



※月に1回は、ミーティングを実施していく、意見交換、顔合わせ

◎人と人のつながりの場づくり
ボランティアを求める人とできる人とのマッチング。
◎お寺の精神的な学びを
ソーシャル・システムに引用していく「学び場」つくり